

2016年8月29日

各位

株式会社 三井住友フィナンシャルグループ

環境情報誌「JUNIOR SAFE」が第10回キッズデザイン賞「優秀賞 消費者担当大臣賞」を受賞

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（取締役社長：宮田 孝一、以下「SMFG」）は、このたび、第10回キッズデザイン賞（ ）において、子どもを対象とした環境情報誌「JUNIOR SAFE（じゅにあ せーふ）」が過去最高となる503点の応募作品のなかから、銀行では初となる「優秀賞 消費者担当大臣賞」を受賞しました。

キッズデザイン賞は、「子どもが安全に暮らす」「子どもが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」ための製品・空間・サービスを対象にした顕彰制度で、受賞作には「キッズデザインマーク」の使用が認められます。

「JUNIOR SAFE」は、SMFGが20年にわたり発行している「くらしと地球と金融をつなぐ環境情報誌 SAFE」の子ども版として昨年12月に創刊し、子どもが環境について自ら考え行動することを願い、「未来を変えるお金の使い方」をテーマとしました。

今回の受賞では「未来を変えるお金の使い方を考えることにより、一人一人の消費行動が持続可能な消費者市民社会や環境を変えうることを、商品の選択方法や情報の読み取り方から丁寧に伝えており、将来子どもたちが自立した消費者となるための消費者リテラシー育成の面から優れたツールであることを評価した。」との審査評をいただきました。

この「JUNIOR SAFE」は全国の三井住友銀行店頭でお渡ししているほか、SMFGのホームページでもご覧いただけます。SMFGでは、「環境」「次世代」「コミュニティ」をCSR重点課題に定め、金融グループとして未来への架け橋の役割を果たすことを目指して、取り組みを続けてまいります。

（ ）第10回キッズデザイン賞（主催：特定非営利活動法人キッズデザイン協議会、後援：経済産業省、消費者庁）

< JUNIOR SAFE >



< キッズデザインマーク >



以上